

平成25年8月19日

株式会社 KADOKAWA
株式会社角川書店
株式会社角川学芸出版
株式会社中経出版
株式会社アスキー・メディアワークス
株式会社エンターブレイン
株式会社メディアファクトリー
株式会社ブックウォーカー

新生KADOKAWAを象徴する新規事業第一弾

〈ソーシャル時代〉の新しい選書レーベル 角川 EPUB 選書 2013 年 10 月 10 日創刊！

株式会社 KADOKAWA(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:佐藤辰男)と子会社7社(株式会社角川書店、株式会社角川学芸出版、株式会社中経出版、株式会社アスキー・メディアワークス、株式会社エンターブレイン、株式会社メディアファクトリー、株式会社ブックウォーカー)は、8社合同で新たな選書レーベル「角川 EPUB 選書」を2013年10月10日(木)に創刊します。

ソーシャル時代を迎え、ネット上に刻々と更新される情報が溢れる中で、「最新の情報」を読みやすい知識として価値を見出し、高めようとする試みが、角川 EPUB 選書です。時代をリードする各界の専門家をセレクトし、これからの時代の行方と新しいビジョンを具体的に予見していただく内容を目指します。

刊行は、10月の創刊時に4点、以降隔月に2点刊行します。書籍は全て紙と電子での同時発売を予定しています。

2013年10月1日(火)、株式会社 KADOKAWA は、ネット・デジタルや海外など新規事業領域への進出や世界で通用する IP の創出を目的に、連結子会社9社(株式会社角川書店、株式会社アスキー・メディアワークス、株式会社角川マガジズ、株式会社メディアファクトリー、株式会社エンターブレイン、株式会社中経出版、株式会社富士見書房、株式会社角川学芸出版、株式会社角川プロダクション)を吸収合併します。角川 EPUB 選書は、吸収合併後の新しい KADOKAWA を象徴する初めての新規事業となります。

角川グループ各社合同で発行するレーベルは、2009年3月に創刊した「角川つばさ文庫」に次いで2つ目です。

【角川 EPUB 選書概要】

- ・名称:角川 EPUB 選書(かどかわいーぱぶせんしょ)
- ・創刊日:2013年10月10日(木)
- ・発行・発売:株式会社 KADOKAWA(10月1日にて連結子会社9社を吸収合併)
- ・編集長:永井草二
- ・刊行日:2013年10月10日創刊、以降偶数月10日発売予定
- ・体裁:B6判ソフトカバー ・価格帯:本体1400円前後
- ・公式サイト:<http://www.kadokawa.co.jp/epub/> ・Twitter 公式アカウント:@KADOKAWA_EPUB

・公式ロゴ:



【刊行に際してのご挨拶】

ソーシャル時代を迎え、新しい智が必要とされています。

ネット上には、学者による最新の知見や、かつては情報の受け手でしかなかった人たちによる提言などが溢れ、刻々と更新されています。しかし、単なる一元的な情報のままでは流動していきただけで活用はできません。情報は固定化されたものほどそこに価値が生まれてきます。編集力により「最新の情報」を読みやすい「知識」へと価値を高める。「最新の情報」から「知識」へと価値を見出すという試みが「角川 EPUB 選書」です。

情報の双方向化と爆発的な増大により、「何が」「どう変わったのか」を把握すること。その変化のなかで、今後を指し示してくれる新しい知識とはどのようなものか。新旧両世代の人たちの〈智の架け橋〉となる意義あるテーマと最先端の情報を「角川 EPUB 選書」は発信します。加速化する技術革新の時代、混迷する世界を、気鋭の執筆陣が徹底分析し、新しい指針を照らしていきます。

そして、読者の皆さんと未来を考え覗いていきましょう。

永井草二(角川EPUB選書編集長)

・永井草二(ながい・そうじ)

1992年角川書店入社。新書レーベル「角川 one テーマ21」編集長兼ノンフィクション単行本編集長を経て、2012年角川EPUB選書編集長に就任。

時代には変り目というものがあります。

知識人がヒエラルキーのトップにおかれるこれまでの社会は「知識社会」と呼ばれています。知識人がよき指導者として社会をよりよく導くことは、それはそれでよいでしょう。しかし昨今ツイッターなどの新しいメディアで知見を発信する人びとが大衆の支持を背景に台頭して、社会に大きな影響を与える「ソーシャル社会」が到来したのです。

平成生まれが社会の働き手として活躍するようになったいま、私は新しい時代に新しい出版の器を用意しなければならぬと感じるようになりました。デジタルネイティブといわれる新世代に、私たちが旧来の権威をおしつけ、伝統的な出版スタイルにこだわっていても、いずれそれは廃れる運命をたどるでしょう。そこで、新しい時代の新しい読者にふさわしい智の出会いの場としてここに角川 EPUB 選書を発刊します。一方で加速化する技術革新は、時代の変り目の根幹を見えにくくもしています。本シリーズが、混迷する現実を分析し、自らの行動の指針を照らし出す役割を果たすことを願っています。

角川歴彦(株式会社 KADOKAWA 取締役会長)

・角川歴彦(かどかわ・つぐひこ)

1943年、東京生まれ。早稲田大学第一政治経済学部卒。株式会社KADOKAWA取締役会長。内閣官房知的財産戦略本部本部員、東京大学大学院情報学環特任教授、MIT メディアラボ特別研究員、財団法人角川文化振興財団理事長、(株)角川アスキー総合研究所代表取締役社長なども務める。著書に『クラウド時代と(クール革命)』(角川書店)がある。

【創刊ラインナップ】2013年10月10日(木)刊行

※全作品、電子書籍でもBOOK☆WALKER、各電子書店にて同日より順次発売開始。希望小売価格:いずれも980円(税込)12月10日までの創刊キャンペーン価格。以降変更有り。



■『ルールを変える思考法』著:川上量生(株式会社ドワンゴ代表取締役会長)

定価 1470円(税込) 予定頁数 240頁

発行・発売 株式会社 KADOKAWA(編集:中経出版)

勝てないなら、「ルール」を変えればいい——。後発の「ニコニコ動画」で「YouTube」を迎え撃ち、Google や Apple とは異なる路線で注目のサービスを生み出す思考を公開。ドワンゴ・川上量生会長、初の単著!

[著者プロフィール]1968年生まれ。京都大学工学部を卒業後、コンピューターの知識を生かしてソフトウェアの専門商社に入社。同社倒産後の97年、PC通信用の対戦ゲームを開発する会社としてドワンゴを設立。2000年に代表取締役会長に。03年に東証マザーズ上場、翌年に東証1部に市場変更。独自の発想で携帯ゲームや着メロなどのサービスを次々とヒットさせるほか、07年には、子会社のニワンゴで「ニコニコ動画」を開始し、2010年に黒字化させる。

※カバー、帯のデザインは変更する可能性があります。

■『HTML5で描く未来 クラウド2.0が社会を変える』著:西村卓也(角川アスキー総合研究所 客員研究員)

予価 1470円(税込) 予定頁数 216頁 発行・発売 株式会社 KADOKAWA(編集:アスキー・メディアワークス)

次世代ウェブ技術「HTML5」がリアルを飲み込みようとしている。最安値で給油できるビッグデータ自動車、パーソナライズされる街頭広告など、あらゆる業界で起こる破壊的イノベーションを現役技術者が大胆予測!

[著者プロフィール]1963年兵庫県出身。日本大学生産工学部卒業。システムアーキテクト、テクニカルエンジニア。CADシステム開発、指定統計支援システム設計、電子政府申請フォーム作成システム開発、蛋白質結晶データ検索システム開発、東京藝術大学講師などを経て、アスキーに入社。CMSシステム開発、SNSシステム開発、ECシステム設計、社内ネットワークシステム構築、電子書籍プラットフォーム設計など、28年間一貫してエンジニア。主な著作に『AWKを256倍使うための本』『AT互換機を256倍使うための本』『インターネットを256倍使うための本』『iモードJavaプログラミングスタンダード・アプリケーション編』(いずれもアスキー出版局)などがある。

■『グーグル、アップルに負けない著作権法』著:角川歴彦(株式会社 KADOKAWA 取締役会長)

予価 1470円(税込) 予定頁数 320頁 発行・発売 株式会社 KADOKAWA(編集:アスキー・メディアワークス)

アメリカのIT企業が世界を席巻するなか、日本のコンテンツ産業を振興させるために、21世紀の知的財産制度はどのように変わるべきなのだろうか? 著作権の現在・過去・未来を徹底的に検証する渾身の1冊。

■『アルゴリズムが世界を支配する』著:クリストファー・スタイナー(起業家・ジャーナリスト) 訳:永峯涼

定価 1680円(税込) 予定頁数 384頁 発行・発売 株式会社 KADOKAWA(編集:角川書店)

古代から存在はしたが、2000年代、ウォール街で金融商品開発に活用されたことで一気に進歩したアルゴリズム。映画や音楽のヒット予測に限らない、生活のあらゆる場面に浸透しているアルゴリズムの最前線を追う。

[著者プロフィール]起業家、ジャーナリスト。ベンチャーキャピタルYコンビネータが出資するオンラインスーパーマーケットAisle50の共同設立者、共同CEO。エンジニアでもあり、かつて「フォーブス」誌と「シカゴ・トリビューン」紙の技術ライターも務めた。最初の著書の『\$20 Per Gallon』は全米ベストセラーになった。

【今後の予定執筆陣】

中村伊知哉(慶應義塾大学教授)、喜連川優(東京大学生産技術研究所教授)、伊藤穰一(マサチューセッツ工科大学メディアラボ所長)、村上裕一(批評家)、津田大介(ジャーナリスト/メディア・アクティビスト)

以上

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 KADOKAWA IR・広報部 TEL03-3238-8412
ホームページ <http://ir.kadokawa.co.jp>

株式会社角川書店 第一編集局パブリシティ室 松谷文緒
TEL03-3238-8555/FAX03-3262-7646/ e-mail matsutani_f@kadokawa.co.jp